

<News Letter>

報道関係各位

2015年5月21日



世界でひとつだけのオリジナルの香り

天然アロマで作る、ナチュラルフレグランス



公益社団法人 日本アロマ環境協会(略称:AEAJ、東京都中央区)は、精油(エッセンシャルオイル)をブレンドしてオリジナルフレグランスを作る方法をご紹介します。

アロマテラピーで用いられる精油は、花や葉、果皮など100%植物から抽出される香りのエッセンスです。フローラル系、ハーブ系、シトラス系、スパイス系などさまざまな香りの種類があり、その特徴を活かして組み合わせることで、オリジナルのナチュラルフレグランスが作れます。

天然の香りなので市販の香水が苦手という方でも親しみやすく、また、香りの強弱や持続時間など、好みに合わせたフレグランスを楽しむことができます。基材や容器を変えれば、シーンや目的に合わせたアレンジができ、香りの楽しみ方が広がります。

精油のブレンド方法

【用意するもの】

ムエット(試香紙)、ビーカーまたはガラス製の容器、精油各種、保存用の遮光瓶

1. 組み合わせたい精油をそれぞれムエットにつけ、精油のついていない部分に精油名を書いておきます。複数のムエットを同時に嗅いでみて、イメージに合った香りの組み合わせを探します。初心者の方は3~4種の精油でブレンドするのがおすすめです。
2. 組み合わせが決まったら、ビーカーに精油を1滴ずつ入れ、ブレンドしていきます。中心にしたい香りを多めにするなど調整をしながら、イメージする香りに近づけていきます。
3. 完成したら、遮光瓶に移して保存します。肌に使う時は、無水エタノールや植物油などで1%以下の濃度に希釈し、好みに合わせた容器に移してください。



<本件に関する報道関係からのお問い合わせ先>

公益社団法人 日本アロマ環境協会 Tel: 03-3548-3401(平日9:00~17:00)

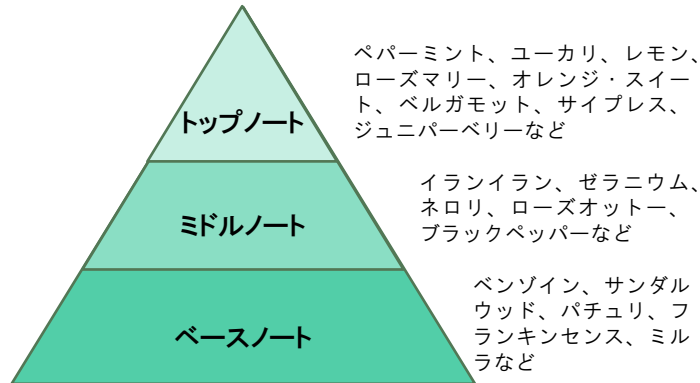
精油をブレンドするコツ

1. 表現するイメージを決める

例えば、「夏」をイメージする場合でも、クールで爽やかな風、燦々と注ぐ太陽の光とひまわり畑の風景など、いろいろな表現が考えられます。自分が表現したいイメージを明確にしてから、そのイメージを形づくる精油を選んでみてください。

2. ノートを活用する

香りの揮発速度によって分類したものをノートといい、揮発性の高い順からトップ、ミドル、ベースの3段階に分けられます。ブレンドしたときに最初に香りが立ち上がるのがトップ、長く持続するのがラストとなるため、3つのノートからそれぞれ精油を選んでブレンドすると、長時間にわたって変化していく香りになります。短時間に軽く香らせたい場合には、トップノート中心のブレンドにするなど、目的に合わせてノートを活用するのがおすすめです。



3. 香りのグループを考慮する

香りはその特徴別にグループに分類できます(下記は一例)。同じグループの精油同士を組み合わせたり、フローラル系とシトラス系、スパイス系とバルサム系、ハーブ系とグリーン系など、各グループの魅力を引き立て合うような組み合わせを見つけてみるのもよいでしょう。

フローラル系 主に花びらから抽出される華やかな香り	ネロリ……ほのかな苦みを含んだ華やかな香り ローズオットー……甘美で幸せ感のある香り ゼラニウム……バラのような甘さがある女性らしい香り
エキゾチック系 主に熱帯に育つ植物から採れる濃厚な香り	イランイラン……南国を思わせるような官能的な香り パチュリ……雨上がりの森のような落ち着いた香り サンダルウッド……オリエントで深みのある香り
スパイス系 スパイスにも使われる植物の果実から抽出される刺激的な香り	ブラックペッパー……爽やかな鋭さのある刺激的な香り ジンジャー……スパイシーで温かみを感じさせる香り クロブ……スパイシーでほのかに甘い香り
シトラス系 主に柑橘系の果皮から採れるフレッシュな香り	レモン……爽やかではじけるような香り オレンジ・スイート……温かみがありホッとするような香り ベルガモット……苦みを含んだやさしくデリケートな香り
ハーブ系 ハーブとして使われる植物の葉から採れる清涼感ある香り	ローズマリー……目が覚めるようなシャープな香り ペパーミント……清涼感たっぷりの爽やかな香り ユーカリ……すっきりとクリアで清潔感のある香り
バルサム系 主に樹脂から抽出される奥深い香り	フランキンセンス……ウッディで上品な印象の香り ベンゾイン……バニラに似た、とろけるように甘い香り ミルラ……奥深い甘みと苦みを感じるスモーキーな香り
グリーン系 主に樹木から抽出されるウッディな香り	ジュニパーベリー……森林のようなきりっとした香り サイプレス……針葉樹の森のような冴えわたる香り ヒノキ……高級感あるフレッシュな森の香り

夏におすすめのブレンドレシピ

爽やかでクールな夏のイメージ

ペパーミント(トップノート)

グレープフルーツ(トップノート)

レモングラス(トップノート)

ペパーミントを中心に柑橘系を組み合わせると、爽やかなクールさを持つ香りに。あえてトップノートだけで構成し、スツと通り抜けるような印象を表現。

落ち着いたきのある森林浴のイメージ

ティートリー(トップノート)

ジュニパーベリー(トップノート)

サイプレス(トップノート)

シダーウッド(ベースノート)

サイプレスとジュニパーベリーを骨格に、ティートリーをメインの香りとして組み立てて、静けさや落ち着いたきのある森林浴を表現。

監修:城市 篤(じょういち あつし)

株式会社資生堂 パフューマー。フランスなどでの研修を経て、パフューマーとして各種化粧品品の香りを創作。2000年フランス調香師会主催フレグランスコンテストで3位入賞。

シーンや目的に合わせてアレンジ

◆スプレータイプ

無水エタノール少量に精油3~4滴を溶かし、水20mlを加えてよく混ぜます。

◆ロールオンタイプ

ホホバ油やスイートアーモンド油などの植物油10mlに精油1~2滴を溶かし、市販のロールオンタイプの容器に入れます。手首などにピンポイントで使いやすいため、自分だけに香るような楽しみ方をしたい時におすすめです。

◆練り香タイプ

ミツロウ4gと植物油20mlを湯せんにかけて溶かし、粗熱がとれたら精油3~4滴を加えてよく混ぜます。小さなクリーム容器などに入れて冷ましたら出来上がり。固形状なので携帯に便利です。



<精油を安全に使うために>

- ①精油は少量でも皮膚に刺激を与えることがあります。精油の原液を直接肌に塗らないように注意してください(特に目や口の周り)。
- ②子どもやペットがなめたり、口に入れたりしないように注意してください。
- ③妊産婦、お年寄り、既往症のある方は、専門家にご相談の上ご使用ください。

【公益社団法人 日本アロマ環境協会(AEAJ)について】

AEAJは、アロマセラピーに関する正しい知識の普及・調査・研究活動など、さまざまなアロマセラピー事業活動および資格認定を行っております。あわせて、自然の香りある豊かな環境の保全と創造に取り組んでいます。

アロマセラピーについての研究など、関連する情報をお探しの際はお気軽にAEAJにご連絡ください。

<本件に関する報道関係からのお問い合わせ先>

公益社団法人 日本アロマ環境協会 Tel: 03-3548-3401(平日9:00~17:00)